

55 埼玉県所沢城教職員住宅新築工事

設計 森本鉄夫建築事務所

1. 工事名称

工事名称	55埼玉県所沢市教職員住宅新築工事	建築主	
建設地	(地名地番) 埼玉県所沢市大字坂本町1091-2 (177番地3)	住所・氏名	埼玉県所沢市坂本町 3-15-1
主要用途	公共施設		埼玉県所沢市坂本町5丁目1番地 国鉄株主
工事種別	(新築)・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・室内修繕・用途変更(大規模の模様替)・仮設建築・解体・移設 移転・その他()	工 期	年 3 3 6 電話 0488 (24) 2111 番
		着工	竣工

2. 敷地状況

敷地面積	公簿面積 1,139.7.00 (= 343 坪.85) 実測面積 1,139.7.00 (= 343 坪.85)	建ぺい率 容 積 率 基準建ぺい率 60 % 基準容積率 200 %
用途地域	(住居専用 (第 2 種)・住居)・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用地域・指定なし その他 ()	日影制限 平均地盤面からの高さ 4. ㎡ 敷地境界線より5㎡を越え10㎡以内の範囲 4. 時間内 敷地境界線より10㎡を超える範囲 2.5 時間内
防火地域	防火・準防火・特定行政庁の指定地域 (指定なし)	
その他の 地域地区	(都市計画区域内)：都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業区域・特定街区・改良地区・文教地区 (第 種)・風致地区 (第 種)・高度地区 (第 種) 駐車場整備地区・電圧伝搬障害防止地区・多雪地区・災害危険地区・緑地地区・土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・ その他 ()	

3. 構造・規模

構造	SRC造・RC造・PC造・鉄骨造・軽量鉄骨造・CB造・木造・その他()	階数	(B) (F 3F、4F、) (P)
構造形式	ラーメン・壁・立体トラス・シェル・析板・その他()	建物高さ	3F 9.45 4F 12.15
基礎	地盤支持(ベタ・布・独立・) (杭支持(RC杭・PC杭・アースドリル・ペナト・深礎・)	最高高さ	最高野高 11.85
増築予定	その他()	その他	

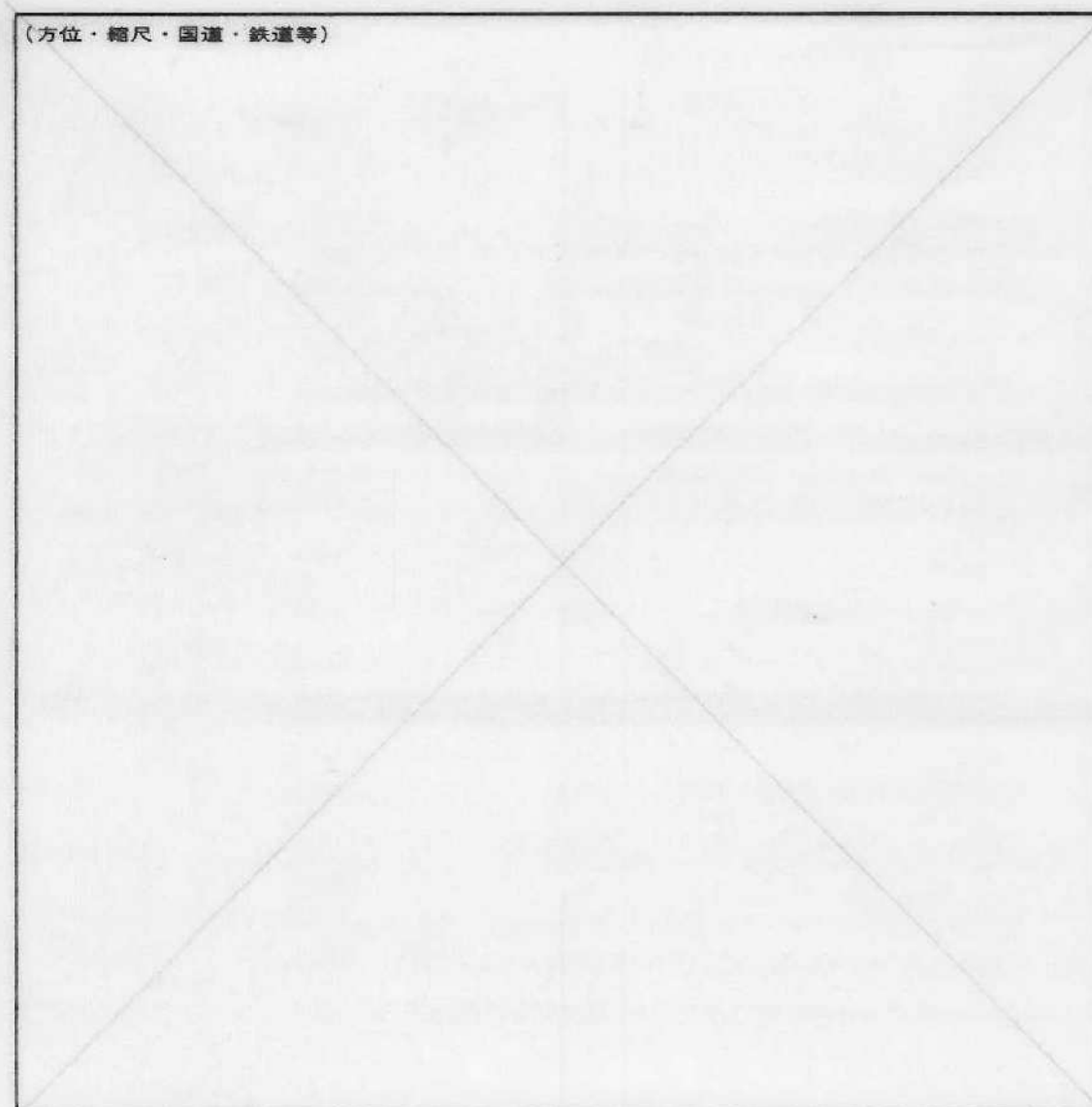
4.面積

	3 F	4 F	合 計	敷地面積に対する割合	中当り専有面積
建築面積	136 ㎡ (= 41 坪29)	136 ㎡ (= 41 坪29)	273 ㎡ (= 82 坪58)	建ぺい率 24 % 許容 60 %	坪単 60.68 ㎡ 坪単 8.39 ㎡ 計 69.67 ㎡
延面積	387 ㎡ (= 117 坪08)	517 ㎡ (= 156 坪11)	904 ㎡ (= 273 坪19)	容積率 79 % 許容 200 %	積算 1,250 x 1800 2.25 ㎡

5. 床面積

[illegible]

6. 案内図



7. その他工事

物置	S 座
自動車置場	S 座
トイレ兼	トイレ・トイレ兼
更衣室	トイレ・トイレ兼
倉庫兼架台	RC 座
防災用設備	RC 座
トイレ兼植栽	トイレ・トイレ兼

8. その他

住戸数	席数	生徒数	駐車台数等
3 F	6	戸	
4 F	8	戸	

9. 外部仕上

屋	構	外部階段
仕 上 水	モルタル金平仕上り	
下 地	モルタル金平仕上り	
防 湿	1/200	
ビロチー		
バラベツト	コンクリート打版シ工ボツテ敷置 面材有付 ステツト柱上	管束 750x100x100
外 壁	モルタル金平仕上り	
六 重 リ 壁 面	モルタル金平仕上り	
開口部		
出入口 ガラリ	アルミサッシ (軽便型)	
窓・軒裏	アルミサッシ (軽便型)	
ベントハウス		
バルコニー	モルタル金平仕上り	
床 面	モルタル金平仕上り	

10. 外部金物

		材 質 ・ 寸 法	防 錆 ・ 仕 上	取 付 場 所	数 量			材 質 ・ 寸 法	防 錆 ・ 仕 上	取 付 場 所	数 量
丸	環	スチール 19mm 内径 107mm	FP	倉上 10mパイプ	12						
手	摺	ステン 150mm 150mm		調整ボルト							
タ	ラ ッ プ	ステン 15mm 12mm 10mm		倉上 10mパイプ	2						
種		VP 10mm 10mm 10mm		倉上 10mパイプ							
鋼	材										
ルー	フドレイン	ステン 10mm 10mm 10mm	9-10 10mm	倉上 10mパイプ							
面	格 子										
旗	竿 金 物										
設	置マウント										
換	気 孔	ステン 10mm 10mm 10mm		倉上 10mm							
物	干 金 物	ステン 10mm 10mm 10mm		10mm 10mm	14 個						

11. その他の
工事範囲

[illegible]

その他の工事範囲で「無」の場合は「工事有」欄を——で消す (例)

設計概要書及び外部仕上表

55 埼玉県所沢市教職員住宅新築工事

[illegible]

00 特記仕様書の取扱いについて

- 項目は項目番号に、○印をつけたものを適用する。
- 記目は、●印をつけたものを適用する。
- その他特記事項は、() 内に記載する。
- 製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当たっては、係員の承認を受けるものとする。

01 一般共通事項

- 適用範囲
● 本特記仕様書は、各共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当工事の記載事項を参照する。
- 疑義
● 本工事の設計図書に関する疑義は、工事発動前に質疑応答をもって確かめておくものとする。
● 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、係員の指示に従い、該員全員の範囲内において施工するものとする。
- 優先順位
● 本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。
1. 現場説明事項 (質疑応答を含む)
2. 特記仕様書
3. 各設計図
4. 共通仕様書
5. 公共規格及びこれに準ずる規格
- 材料試験
● 本工事を使用する材料のうち、係員より指示のあるものに関しては、その成績書を提出し、又は、係員の認め、試験所試験を行い、確認を受けなければならない。なお、試験に要する諸経費は、すべて請負業者の負担とする。
- 提出図書
● 本工事の施工に伴う、提出図書は、下記に定める他、必要に応じて係員と協議の上、作成するものとする。

提出図書	部数	提出時期	備考
1. 工事請負契約書	契約時	提出後速やかに	控えとなるもの
2. 工事工程表	契約後速やかに		ネットワーク工程表
3. 現場代理人及び主任技術者名	〃		経歴書、一級建築士証明
4. 協力業者名簿	〃		
5. メーカーリスト	〃		
6. 仮設計図書	〃		
7. 施工図、製作図	実施15日前		各工事等
8. 工事工程表	1ヶ月後		工事進捗費、専員、日報添付
9. 打合せ議事録	その都度		
10. 変更工事見積書	〃		
11. 出来高承認書	〃		
12. 官公署届出書類	〃		
13. 材料試験報告書	試験後10日以内		
14. 工事竣工図	竣工時		
15. 工事竣工引渡書	竣工時より20日以内		カラーキャビネット版外観室内共
16. 工事竣工図	〃		
17. 工事竣工写真	竣工時		
18. 工事保証書	〃		
19. 竣工リスト	〃		

- 工事竣工図は、黒紙紙金文字入製本とし、二部提出する。(B4版)
- 竣工写真は、建築写真家によるものとし、アルバム貼付にて、提出の事。(B4版)

- 定例打合会議
● 工事の円滑な進行を計るため、係員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を招集し、打合わせを行うものとする。
● 請負者は、定例打合会議を断絶をとり、その都度係員の承認を得るものとする。
- 既設部分との取合い
● 既設建物と今回工事の取り合い部分、その他で折りおき工事の都合などにより破壊、損傷させた箇所は、今回工事仕上げ及び旧工事仕上材にて完全に補修しなければならない。
- 別途工事
● 別途工事についての工事工程表に前より等に関して、別途工事業者と密接に連絡し、調整に当たなければならない。
- 工事保証その他
● 建物竣工引渡後 年以内において工事不良のため、生じたと認められる損害は、請負者の負担にて、迅速丁寧に復旧する。
● 本工事施工に関しては、本工事場所が工事による騒音、振動などについて地域規制されていないかを把握、規制されている場合は規制に従い、施工計画を立て、関係官庁の指導を受ける。

02 仮設工事

- 仮囲い
● 構造：● 鋼板製 ● 木製 ● その他 ()
● 高さ：● 1.5M ● 1.8M ● 3m以上 ● その他 ()
● 仕上：● 仕上なし ● ペイント仕上 ● その他 ()
● 範囲：道路面および安全上必要と思われる範囲とする。
● 意 図： ()
- 係員詰所
● 構造：● プレハブ造 ● 木造 ● その他 ()
● 規模：● 10㎡内外 ● 20㎡内外 ● 35㎡内外 ● その他 ()
● 備 品：● 机●椅子●書棚及び洗面欄・図版・定規●炭板・通風度計・テストハンマー・ノギス●安全帽・来客用安全帽・長靴・水平器・ロッカー ● その他 ()
● 設 備：● 電灯 ● 給排水・給湯設備 ● 電話 ● 冷蔵庫 ● 消火器 ● インターホン ● クララー ● その他 ()
● 係員詰所は工事打合わせに便利よう請負事務所と隣接して建てる。詰所に拘る諸経費は、一切請負者の負担とする。
- 看板
● 本工事現場に掲示する看板は、大きさ、書体、仕上げ、取付位置などあらかじめ係員と協議する。
- 工事用水・電力
● 利用できる () ● 有償 () ● 無償 () ● 利用できない。
- 障害物の処理
● 工事上面法、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。

- 設計 G.L.
● 標準 G.L. の決定及び B.M. の設置は、係員の立会いのもとに行う。
- 保護設備
● 本工事の施工に当り、付近住民・隣接建物・工作物・通行人に対して被害を与えないように、必要な保護設備を計画し、係員及び各関係の承認を得て実施する。万一被害を与えた時は、速やかに対応手段、復旧工事をしてこれに要した費用は、請負者の負担とする。
- 掃 除・復 旧
● 工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、公道の工事による損傷物は、完全に復旧する。

03 土工事

- 根 切 り
● 工事着手前に根切方法、山留工法、排水方法、使用機械等を記した、施工計画書を作成し、係員の承認を得るものとする。
● 根切完了後、深さ、大きさ、床さらいの試験について、係員の承認を得るものとする。
● 特殊工法
- 敷地整理
● 樹木：● 移植 ● 伐切 ● その他 ()
- 埋戻し・盛土
● 埋戻し：● 根切土使用 ● その他 ()
● 盛 土：● 無 ● 有
- 残土処分
● 場外搬出 ● 場内敷均し ● その他 ()

04 地業工事

- 地耐力試験
● 不要 ● 必要 ケ所
● 長期支持力 t/m²
- 既 装 地 業
● 杭の種類：● R C 杭 ● P C 杭 ● その他 ()
● 長さ等： 詳細については構造設計図特記による。
● 試験杭： 詳細については構造設計図特記による。
● アースオーガー工法：● 不要 ● 必要 G.L. - 10 m 迄
- 場所打コンクリート地業
● 杭の種類：● アースドリル杭 ● ベント杭 ● 深層工法 ● その他 ()
● 長さ等： 詳細については構造設計図特記による。
● 使用鉄筋、コンクリート等： 詳細については構造設計図特記による。
● 積荷試験：● 不要 ● 必要 ケ所
- 削 掘 及 び 砂 利 地 業
● 地業の種類：● 削 掘 ● 砂 ● 砂利 ● 砂石 ● その他 ()
● 厚さ：100 %
- ラッフルコンクリート地業
● コンクリートの割合：セメント1・砂3・砂利6 (容積比)
● コンクリートと玉石の比率：1：1 ● その他 ()
- 捨てコンクリート工法
● 厚さ：50 %
● 割合：セメント1・砂3・砂利6 (容積比)
- ポリエチレンフィルム敷き
● 不要 ● 必要 厚0.15%
- 特殊工法

05 コンクリート工事

- 鉄筋コンクリート
● コンクリートの種類：● 普通コンクリート ● 早強コンクリート ● その他 ()
● 設計基準強度：● 18.0kg/cm² ● 21.0kg/cm² ● 22.5kg/cm² ● その他 ()
● 混 合 料：● 減水剤 ● 防錆剤 ● その他 ()
● 粗 骨 材：● 川砂利 ● 砕 石 ● その他 ()
● 細 骨 材：● 川砂 ● 山砂 ● その他 ()
● コンクリートの供給：● レディーメックスコンクリート ● 現場コンクリート ● その他 ()
● 水セメント比：● 60%/wt以下 ● 70%/wt ● その他 ()
- 軽量コンクリート (構造用)
● 粗 骨 材：● 人工軽量骨材 ● その他 ()
● 細 骨 材：● 人工軽量骨材 ● その他 ()
● 設計基準強度：● 18.0kg/cm² ● 21.0kg/cm² ● 22.5kg/cm² ● その他 ()
● 気 乾 比 重：● 1.8 以下 ● その他 ()
- 寒中コンクリート
● 適用 範 囲：56 年 1 月 1 日 ~ 56 年 1 月 31 日
- 無筋コンクリート
● 土間コンクリート：Fo=21.0kg/cm² スラップ15cm 以下とする。
● 防水押入れ床かきコンクリート：Fo=13.5kg/cm²
- 軽量コンクリート (非構造用)
● 高 強 度：● 9.0kg/cm² ● 13.5kg/cm² ● その他 ()
● 気 乾 比 重：● 1.8 1.2 ● 1.1 ● その他 ()
● 粗 骨 材：● 火山砂利又は石灰ガラ ● 人工軽量骨材 ● その他 ()
● 細 骨 材：● 川砂 ● 山砂 ● 海砂 ● その他 ()

- 型 枠
● 材 料：● 合板 (厚12%) ● 鋸甲板 (厚 %) ● 金属製型枠パネル ● その他 ()
● 工 法：● ボルト式 ● 巻締式 ● その他 ()
● 割 断 剤：● 使用不可 ● 使用可 ()
● 存置期間：建設者指示111号による。
● 打放しコンクリート仕上りのみ張り厚増：● 2.0% ● その他 ()
● コンクリート面の仕上がり程度：● 目違い不平等極めて少ない良好面とする。
● 目違い不平等の少ない良好面とする。
● 打放しのまま目違いをばらばらに行なう。
● 打放し仕上の場合、保水剤入りモルタルを貼る。
● 面うちに仕上げる。
● コンクリート面に合わせ仕上げる。
- 試 験
● 採取した試験体は工事現場、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。
● コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所に於て行なうことを原則とする。
- 運搬及び打込
● コンクリート打込に先立って、設計・施工条件を十分考慮し、適切な施工計画書を作成し、係員の承認を受けるものとする。

06 鉄筋工事

- 一 般 工 事
● 鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。
● 鉄筋の継手及び端部配筋等については、共通仕様書の他に構造設計図記載の基準詳細図等を優先する。
● 鉄筋の加工・組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工工を作業し係員の承認を受ける。
- 材 料
● 普通鉄筋：● S R 24 (規格品) ● S D 30 (規格品) ● S D 35 (規格品)
● 異形鉄筋：● S D 24 (規格品) ● S D 30 (規格品) ● S D 35 (規格品)
● S D 40 (規格品) ● その他 ()
- 継 手
● 種 類：● カス圧継手 (・16φ以上 ● 19φ以上) ● 重ね継手 ● アーク溶接継手 ● その他 ()
- 鉄筋スプーサー
● 種 類：● 金属製 ● モルタル製 ● 塩ビ製 ● その他 ()

07 鉄骨工事

- 一 般 事 項
● 使用範囲及び区分は構造設計図による。
● 鉄骨の継手・仕口及び端部部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の基準詳細図等を優先する。
● 工作図または、寸法図 (型板および定規を左右) を作成し、係員の検査を受ける。
- 普 通 鋼
● 形鋼・鋼板：● S S 41 ● S M 41 A ● S M 41 B ● S M 50 A ● その他 ()
● 軽 量 形 鋼：● S S C 41 (規格品)
● 鋼 管：● S T K 41 ● S T K 50 ● その他 ()
● 高力ボルト：● F 8 T ● F 10 T ● F 12 T
● 普通ボルト：● S S 41 とし等級は中ボルト程度とする。
● リベット：● S V 41 A (規格品)
● 溶接材料：● J I S - Z - 3 2 1 1 規格に適合するもの。
● 防 錆 塗 装：● 鋼地調整の程度 ● 第1種ケレン (ブラスト法) ● 第2種ケレン (機械的作業) ● 第3種ケレン (手工的作業)
● 錆止塗料は仕上塗装特別に於ける関係禁止塗料とする。
● 塗装回数：工場1回、現場1回、但し結立後塗装不可能な部分は、工場2回塗りとする。
● 仕 上 塗 装：● オイルペイント ● グラファイトペイント ● その他 ()
- 耐候性高張力鋼
● 鋼 材：● S P A H / C ● S M 50 A / B / C ● S M 50 B C ● その他 ()
● 高力ボルト：● F 8 T ● F 10 T ● F 12 T
● 使用材料：● 探使用 ● 表面処理 (● ウェザーコート I ● ウェザーコート II ● その他 ()
● 溶 接 材 料：● J I S - Z - 3 2 1 2 規格に適合するもの。
- 工 法
● ボルト工法：● 溶接工法 (アーク溶接) ● その他 ()
- 溶接部の試験
● 試験の種類：● 超音波探傷試験 ● X線検査 ● その他 ()
- 溶接工の技量確認
● 行なう ● 行わない
- 試 作 品
● 必 要 ● 不必要

08 組積工事

- コンクリートブロック
● 種 別：● A 種 ● B 種 ● C 種 (防水)
● 厚 さ：● 100% ● 120% ● 150% ● 190%
● 補強鉄筋：縦筋9φ@400% 横筋9φ@600% 開口補強筋13φ
- 練 瓦 (レンガ)
● 種 別：● 普通 ● 耐火 ● 焼過ぎ ● その他 ()
● 使用場所：● 化粧 ● 塗下 ● 防水押え ● 煙道 ● その他 ()
- A L C 版
● 形状・寸法：● 外壁 % ● 間仕切壁 % ● 床版 100 %
● 屋根板 %
● 目地コーキング材：● 弾性 (● ポリサルファイド系 ● シリコン系 ● ポリウレタン系)
● 塑性 (● アクリル系 ● ブチル系)
● 油性コーキング材 ● その他 ()
● 取付金物：● S S 41 を原則とし、亜鉛メッキ処理を原則とす。
- プレキャストコンクリート
● 本工事は事前に指定製造所に於て設計図及び仕様書に基づき、あらかじめ製作・組立工法の詳細について、施工図及び施工計画書を作成し、係員の承認を受けた後工事に着手する。
● コンクリートの種類：● 軽量コンクリート (構造用) ● 普通コンクリート
● 混和剤の有無：● 必要 ● 不必要
● コンクリートの強度：kg/cm²
● 型 枠：● 木 製 ● 金属製 ● その他 ()
● シーリング材：● ポリサルファイド系 ● その他 ()
● 取付金物の防錆処理：● シンクロメーティング処理 ● 亜鉛メッキ処理 ● その他 ()
● 現作試作品：● 必要 ● 不必要

09 防水工事

- 一 般 事 項
● 本工事は、すべて責任施工とする。
- アスファルト防水
● 種別工法：● 歩行用屋上防水 ● 露出屋上防水 ● 室内防水 ● その他 ()
- シ ー ト 防 水
● 種別：● 合成ゴムシート防水 厚 % ● 合成樹脂シート防水 厚 %
● その他 ()
- 塗布・塗膜防水
● 種別：● ウレタン塗布防水 厚 % ● ゴムアスファルト塗布防水 厚 %
● その他 ()
- モルタル防水
● 種別：● セメント系 ● 樹脂系 ● その他 ()
- 止 水 板
● 地下埋コンクリート打継ぎ箇所止水：● 不要 ● 必要 (● クロロブレンゴム ● 合成樹脂系 ● その他 ()
- 防水押え 伸縮目地
● 目地材料：● エラストイト+アスファルトコンパウンド 巾 %
● 発泡樹脂板+アスファルトコンパウンド 巾 %
● その他 ()
● 工 法：アスファルトコンパウンドは、防水押え仕上りより5%下りに充てんし、エラストイト以外の目地材は必ず密着する。
- 責 任 保 証
● 工事請負者及び施工会社は、記名捺印の上、下記保証期間の保証書を3部係員に提出するものとし、事故が生じた場合は、無償にて補修復旧するものとする。
● アスファルト防水：10年間 ● シート防水： 年間 ● 塗布防水： 年間 ● モルタル防水：10年間 ● その他： 年間 ()

- コーキング材
● 外部建築用：● ポリサルファイド系 ● ポリウレタン系 ● 油性系 ● シリコン系 ● その他 ()
● コンクリート打継目地：● ポリサルファイド系 ● ポリウレタン系 ● 油性系 ● シリコン系 ● その他 ()
● 充てんは、 %X %を最小とする。パッキンアップ材を使用するものとし、発泡樹脂製密封材とする。

10 石工事

- 一 般 事 項
● 石材は、傷、割れ又は亀裂を生ずる恐れのある節や欠点の少ないものとし、色、仕上面の材質は、サンプルにより、指定する。
● つなぎ金物の木柄、鋸、干切類は防錆処理を施した鋼又は真ちゅう製とする。
● 仕上の種類は、次の記号を用いる： A=本磨き B=水磨き C=粗磨き D=小叩き E=ウキ肌 F=ビシャン叩き G=別肌
- 材 料
● 大 理 石：● 国産 ● 外国産 ● 板厚 % ● 仕上
● 花 崗 石：● 国産 ● 外国産 ● 板厚 % ● 仕上
● その他自然石：● 国産 ● 外国産 ● 板厚 % ● 仕上
● テラゾブロック：● 種石 ● 厚 % ● 仕上

11 タイル工事

- 一 般 事 項
● 指定製造会社の製品により見本品を提出し、係員の承認を受ける。
● タイル付図を作成し、指定の箇所は、役物を用いるものとし、係員の承認を受ける。
- 工 法
● 伸縮目地： 垂直方向に柱がない場合は、柱間毎に、柱型がある場合は、柱型の両側に設ける。水平方向には、各階毎に設ける。
● タイル張工法：● 圧着工法 ● 同子貼工法 ● 接着貼工法 ● 打込み工法 ● その他 ()
- 普通タイル
● 磁器タイル ● %X %X厚 %
● 半磁器タイル ● %X %X厚 %
● 磁器タイル ● %X %X厚 %
● モザイクタイル ● %X %X厚 %
● クリッカータイル ● %X %X厚 %
● その他 ● %X %X厚 %
- 特殊タイル
● テッセラタイル ● %X %X厚 %
● 高変タイル貼 ● %X %X厚 %
● 模様タイル貼 ● %X %X厚 %
● 外国産タイル貼 ● %X %X厚 %
● その他 ● %X %X厚 %

12 木工事

- 一 般 工 事
● 土台・床下地は、薬液による防虫処理を使用する。
● ラウナー使用の場合は、加熱による防虫処理材とする。但し係員の承認を受けて、薬液による防虫処理材を使用してもよい。
● 水廻り及び壁・数層間は、検査同等以上の薬水を使用するものとする。
- 根 掘 及 び 等 級
● 見え隠れ材：● 樹種 ● 等級
● 和室造作材：● 樹種 ● 等級
● 一般造作材：● 樹種 ● 等級
● 枠 材：● 樹種 ● 等級
● 完成材の表面：● 樹種 ● 等級
- 防 腐 ・ 防 虫 の 処 理
● 見え隠れの部分の排水面上に接する部分、及び地盤より1m以内の部分に行うものとする。

13 屋根工事

- 亜鉛鉄板葺
● 材料：● 亜鉛鉄板 ● 片面カラー鉄板 ● ビニール被覆鉄板 ● その他 ()
● 板厚：● #30 (0.32%) ● #28 (0.40%) ● #26 (0.50%) ● #24 (0.60%) ● その他 ()
● 工法：● 平葺 (● 一文字葺 ● ひし葺 ● 瓦葺葺)
● 波板葺 (● 大波 ● 小波)
● 形状：● 長尺 ● 規格
● 野地板：● ドリゾール板 厚 % ● 木毛セメント板 厚 % ● 杉板 厚 %
● その他 ()
● 下葺：● アスファルトルーフィング (2.2kg以上) ● アスファルトフェルト (2.0kg以上) ● その他 ()
- ス レ ー ト 葺
● 材料：● 石綿大波 ● 石綿小波 ● 石綿平板 ● リブ ● その他 ()
- 折 反 構 造
● 材料：● 亜鉛鉄板 ● 片面カラー鉄板 ● ビニール被覆鉄板 ● その他 ()
● 板厚：● 0.5% ● 1.0% ● 1.2% ● その他 ()
● 仕様：● 耐火 ()
● 面熱 ()
● 工法：指定製造所の仕様による。
- アスファルトシングル葺
● 材料・工法： ()
- その他の屋根葺
● 材料・工法： ()
- 構 造
● 壁構：● 自ガス管 (φ %) ● 塩ビパイプ (φ %) ● その他 ()
● 容積：● カラー鉄板 ● その他 ()
● 軒端：● カラー鉄板 ● その他 ()
● 防露：● 建物内部に取付部分図示なき張りガラス繊維被覆断熱25%の上アスファルトフェルト+ビニールテープ押えとする。

14 金属工事

① 一般事項	● 工事に当たっては、製作図を提出の上係員の承認を受けるものとする。
② 防錆処理	● 外部金物： ・ ジンクロメートメッキ処理 ・ 亜鉛メッキ処理 ・ その他 ● 内部金物： ・ J・S（鉛丹ジンクロメート錆止塗料）に規定する塗料1回塗とする。 ● 取付用地下金物： ・ 指定なき限り亜鉛メッキ処理とする。
③ 軽量鉄骨天井・壁下地	● 軽量鉄骨天井下地および、壁下地は指定製造所製品とし、防錆処理は、ジンクロメートメッキ処理、または、亜鉛メッキ処理を施したものとする。
4. 金属製階段ノンスリップ	● 材質・巾： ・ ステンレス製 % アルミ製 % 鉄製 38 % ・ 真鍮製 % その他（ ● 型 式： ・ タイヤ入 ● タイヤ無
⑤ ルーフドレイン	● 材 質： ● 諸鉄製コールドタルル付仕上げとする。 ● 取付工法： ● 先付け工法 ・ 後付け工法
6. マンホール	● 種類： ・ 笠型 ● 防水型 ・ 耐震型 ・ 防臭型 ・ 錠（ ・ 有 ・ 無） ● 材質： ・ 諸鉄製 ・ アルミ鋳製 ・ その他（ ● 型式： ● 丸型 ・ 角型 ・ 二重型化粧マンホール ・ その他（
7. 天井改め口	● 材質： ・ アルミ鋳製 ・ ステンレス製 ・ その他（ ・ 寸法： ・ 450%角 ・ 600%角 ・ その他（
8. 格 子 蓋	● 材質： ・ 諸鉄製 % ステンレス製 % ・ その他（
⑨ 製 作 金 物	● 材質： 形状等は、設計図によるものとする。

15 左官工事

① モルタル塗	● モルタルは亀裂防止剤、接着剤、防水剤その他の混和剤を必要に応じて係員と協議の上使用するものとする。 ● 塗厚 内壁： ● 20% ・ % 外壁： ● 25% ・ % 床 ： ● 30% ・ %
② 防水モルタル塗	● 防水剤は指定製造会社の製品とし、調査容積比セメント1：砂2：防水剤（製造会社の指定量）とし、モルタルの濃に準じて仕上げる。
③ プラスター塗	● 種類： ・ ドロマイトプラスター ・ 石膏プラスター ・ ALC板用プラスター ・ その他（ ● ラスボード： ・ 厚9% ● 厚7% ・ その他（
④ 吹付タイル	● 種類： ・ 無機質系 ・ 有機質系 ・ その他（ ● 仕上：
⑤ リシン吹付	● 種類： ● アクリル系 ・ セメント系 ・ その他（ ● 仕上： 本施工前と見本吹を行い、吹付回数を決する。
6. 白セメント吹付	● 白セメントにドロマイトプラスター（上塗り）を10%温和水練したものを用いて使用するものとし、2回吹付とする。
7. 岩 綿 吹 付	● 種 類： ● 吸音用 ・ その他（ ● 吹付厚： ・ 10% ・ 15% ・ 20% ・ 25% ・ 30% ● 色 ： ・ 着色 ・ 原色 ● 仕 上： ・ 吹付 ・ こて押え
8. 石 綿 吹 付	● 種 類： ● 断熱用 ・ 耐火被覆用 ・ 吸音用 ・ その他（ ● 吹付厚： % ● 色 ： ・ 着色 ・ 原色 ● 仕 上： ・ 吹付 ・ こて押え ・ エンボス仕上 ・ その他（
9. ひ る 石 吹 付	● 種 類： ● 吸音用 ・ その他（ ● 吹付厚： ・ 3% ・ 5% ● 色 ： ・ 着色 ・ 原色 ● 仕 上： ・ 吹付 ・ かき落し ・ こて押え
10. 人 造 石 塗 り	● 仕 上： ・ 水磨 ・ 粗磨 ・ 小叩き ・ かき落し ・ その他（
11. テラゾー現場塗	● 仕 上： ・ 水磨 ・ 粗磨 ・ 小叩き ・ かき落し ・ その他（
12. 塗 床 材	● 種 類： ● 硬質塗色床 ・ 合成樹脂ビニール系 ・ 合成樹脂エポキシ系 ・ その他（

16 建具工事

① アルミ製建具	● 種類： ● レディーメード製品 ● イージーオーダー製品 ・ オーダーメード製品 ・ その他（ ● 型式： ・ レギュラー ・ セミエアータイト ・ エアータイト ・ その他（ ● 仕上： ・ アルミホワイト仕上 ・ 自然発色皮膜 ・ 電解発色皮膜 ・ その他（
2. 鋼 製 建 具	● 種 類： ・ 普通鋼板 ・ ボンデ亜鉛鋼板 ● ボンデ鋼板 ・ 耐候性鋼板 ・ その他（ ● 鋼板厚さ： ● 窓、出入口、三方枠、方立、無目等は厚さ2、3%、窗框はステンレス製厚2% ● 防錆処理： ● ジンクロメート錆止塗料1回塗 ・ その他（ ・ 防音処理： ・ 防音断の性能は30db以上とする。 ・ 外断断り、断熱性、その他騒音を生じる個所の鋼製ドア枠はスポンジネオプレーン気密材を用いて気密にする。
3. ステンレス製建具	● 種 類： ・ レディーメード製品 ・ オーダーメード製品 ● 仕 上： ・ ヘアライン仕上 ・ パフ仕上 ・ エッチング仕上 ・ ミラー仕上 ・ その他（ ● 曲げ加工： ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ ・ その他（
4. シャッター	● 種類： ・ 産業電動シャッター ・ 軽量電動シャッター ・ 軽量手動シャッター ・ 防煙・防火シャッター（ ・ 甲種 ・ 乙種） ● 型式： ・ 遙遙型 ・ バイブ型 ・ リベット継り型 ・ ネット型 ・ 波型 ・ その他（ ● 機構： ・ 巻上げ式 ・ 横引式 ・ 水平式 ・ その他（ ● レール・マグサ： ・ ステンレス製 ・ 鋼板製 ● スラットの種類： ・ ステンレス製 ・ アルミ製 ・ 鋼板製 厚さ： ・ 厚1.6% ・ 厚1.2% ・ 厚0.8% ・ 厚 %

5. 自動扉装置	● 動力方式： ・ 油圧式 ・ 空気圧式 ・ 電気圧式 ・ その他（ ・ 制御方式： ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ式 ・ 光電スイッチ ・ その他
⑥ 木 製 建 具	● 一般事項： ・ 仕上塗装は後記・塗装工事仕様によるものとし、化粧合板の仕様は設計図による。 ● フラッシュ戸表面材の厚さ： ・ 5.5%以上 ・ 4.0%以上 ● 3.0%以上
7. 建 具 金 物	● 指定製作所の製品とし、形式は設計図により、見本提出の上係員が承認したものとする。 ● マスターキー： ・ 必要 組合3枚 ・ 不要 ・ グランドマスターキー： ・ 必要 ・ 不要 ・ 各キーは市販キーボックスに納入し、案内図を添付して係員に提出する。
8. 建具周囲のシーリング材	● 建具の周囲は入念にコーキングすること。 ● 種類： ・ ポリサルファイド系 ・ シリコン系 ・ 油性 ・ その他（
9. 網 戸	● 網の種類： ・ サラン ・ ステンレス ・ グラスファイバー ・ その他（
⑩ ガ ラ ス	● 種類： 設計図によるものとし、指定製造会社の製品とする。 ● ガラス取付材料： ● ビニール製ビート ・ ポリサルファイド系シール材 ・ 硬化性ガラスパテ ・ ネオプレーンジョパースケット ・ その他（

17 塗装工事

① 一般事項	● 素地調整及び塗装工程は、共通仕様書による。 ● 塗装業者は日本塗装工業会会員とする。
2. 防 火 材 料	● 屋内の壁及び天井の仕上げは基材同等の認定のあるものとする。
③ 合成樹脂・エマルジョンペイント塗	● 浴室、脱衣室、便所、洗面所、湯沸室等の天井は一種を用いる。
4. マスチック塗材	● 種類： ・ マスチックA（外部用） ・ マスチックB（内部用） ・ マスチックC（内・外部用）
5. 特 殊 塗 料	● 種類： ・ 使用箇所：

18 内装工事

① 一般事項	● 本工事に使用する材料はJIS規格品とする。但し特殊材料はこれに準拠し、前もって見本品を提出したり、見本貼りをを行い、係員の承認を受けることとする。 ● 本工事に使用する金物は図示を限り、塗装下地の場合は組合板、その他はラワン、等級は4級とする。又水場廻りに使用する金物はタイプ1耐水合板とする。 ・ 自速し貼りの受材面は、粘貼なき限り市販の糊テープ張りを施す。
② 合成樹脂系床材	● 種類： ・ 塩化ビニール系樹脂タイル（ ・ 半硬質 ・ 軟質 ・ ホモジニアス） ● 塩化ビニール系樹脂シート（ ・ 半硬質 ・ 軟質 ・ ホモジニアス） ・ ゴムタイル ・ ゴムシート ・ その他
③ フローリング材	● 種類： ・ モザイク ● パークット ・ フローリング ・ その他 ● 材質： ● ナラ ・ プナ ・ サクラ ・ その他（
4. カーベット	● 種類： ・ ウィルトンカーベット ・ コートカーベット ・ バンチカーベット ・ その他（ ・ 下地： ・ 無 ・ 有（フェルトクッション %） ・ 工法： ・ 接着張り ・ 両面粘着テープ張り ・ グリッパ工法 ・ その他（
⑤ 畳	● 種類： ● 本畳 ・ ビニール畳 ・ 特殊畳床： ・ 無 ・ 有
6. 特 殊 合 板	● 種類： ・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工合板（ ・ メラミン化粧合板 ・ ポリエステル化粧合板 ・ プリント合板） ・ その他
7. 吸 音 板	● 岩綿吸音板： ・ 下地（ ・ 木製軸組 ・ 石膏ボード厚9% ・ 軽鉄下地 ） ・ その他（ ・ 穴あき石膏ボード ： ・ 厚 % ・ 穴あきフレキシブルボード： ・ 厚60% ・ 厚50% ・ 炭酸マグネシウム板 ： ・ 厚 %
8. 壁 装 材	● 紙製品 ： 級以上 ・ 布製品 ： 級以上 ・ ビニール製品： 級以上
⑨ 石膏その他のボード張り	● 石膏ボード ： 厚 % ・ 化粧石膏ボード ： 厚 % ● 石膏セメント ： 厚 % ・ 石綿ケイ酸カルシウム板： 厚 % ・ その他（
⑩ 断 熱 材	● フォームポリスチレン：厚 25 % ・ ロックウール ： 厚 % ・ グラスウール ： 厚 25 %
11. 既 製 間 仕 切	● 表面材および仕上げ： ・ 鋼板 厚さ0.8%以上+樹脂塗装あるいは樹脂焼付塗装 ・ その他（ ・ 工法： ・ スタッド式 ・ パネル一体式 ・ パネル分割式
12. そ の 他	

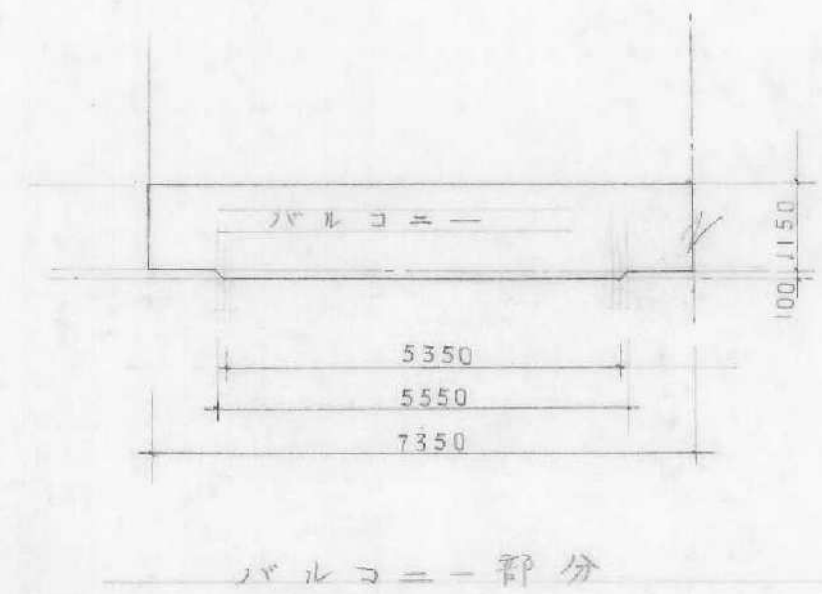
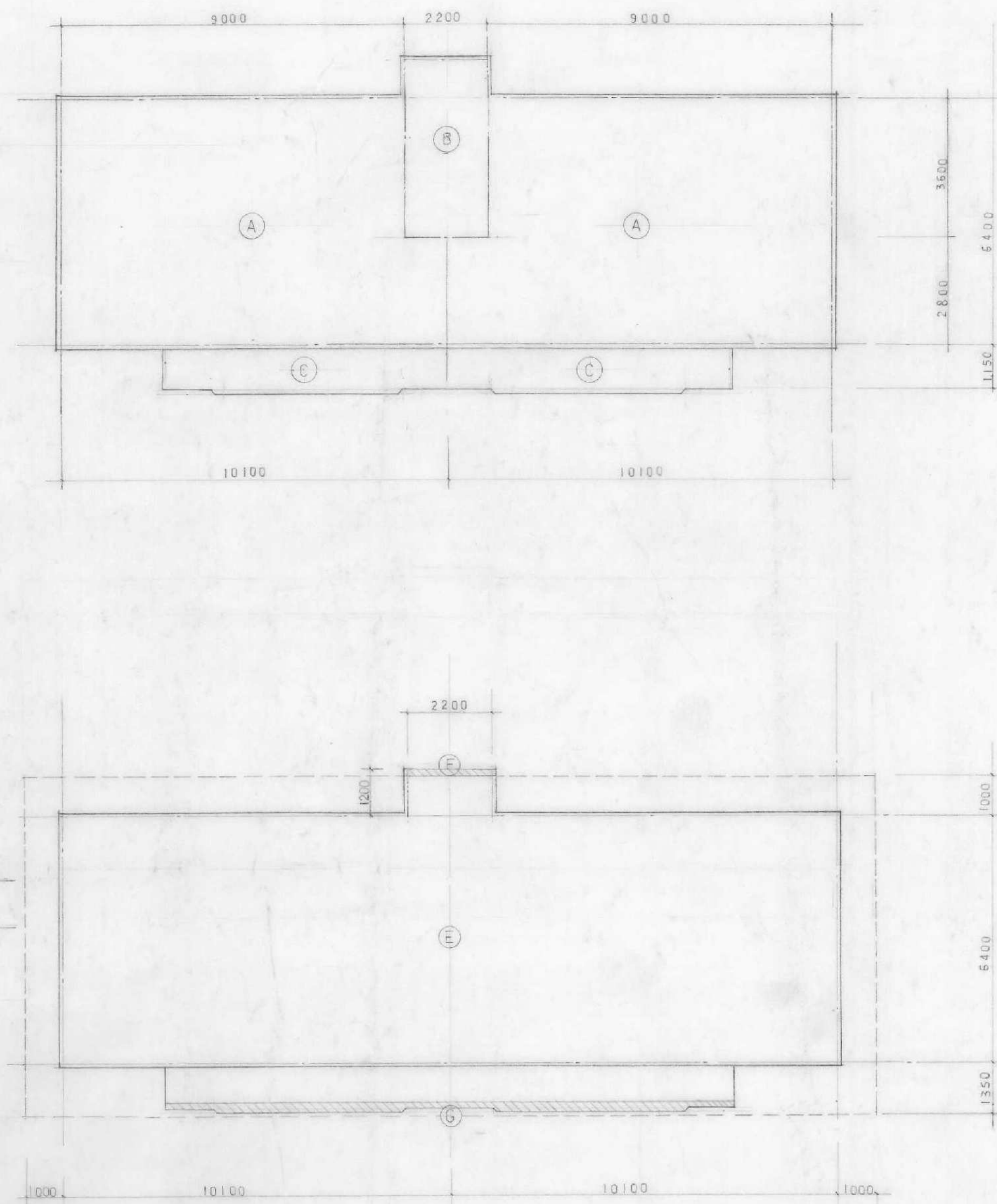
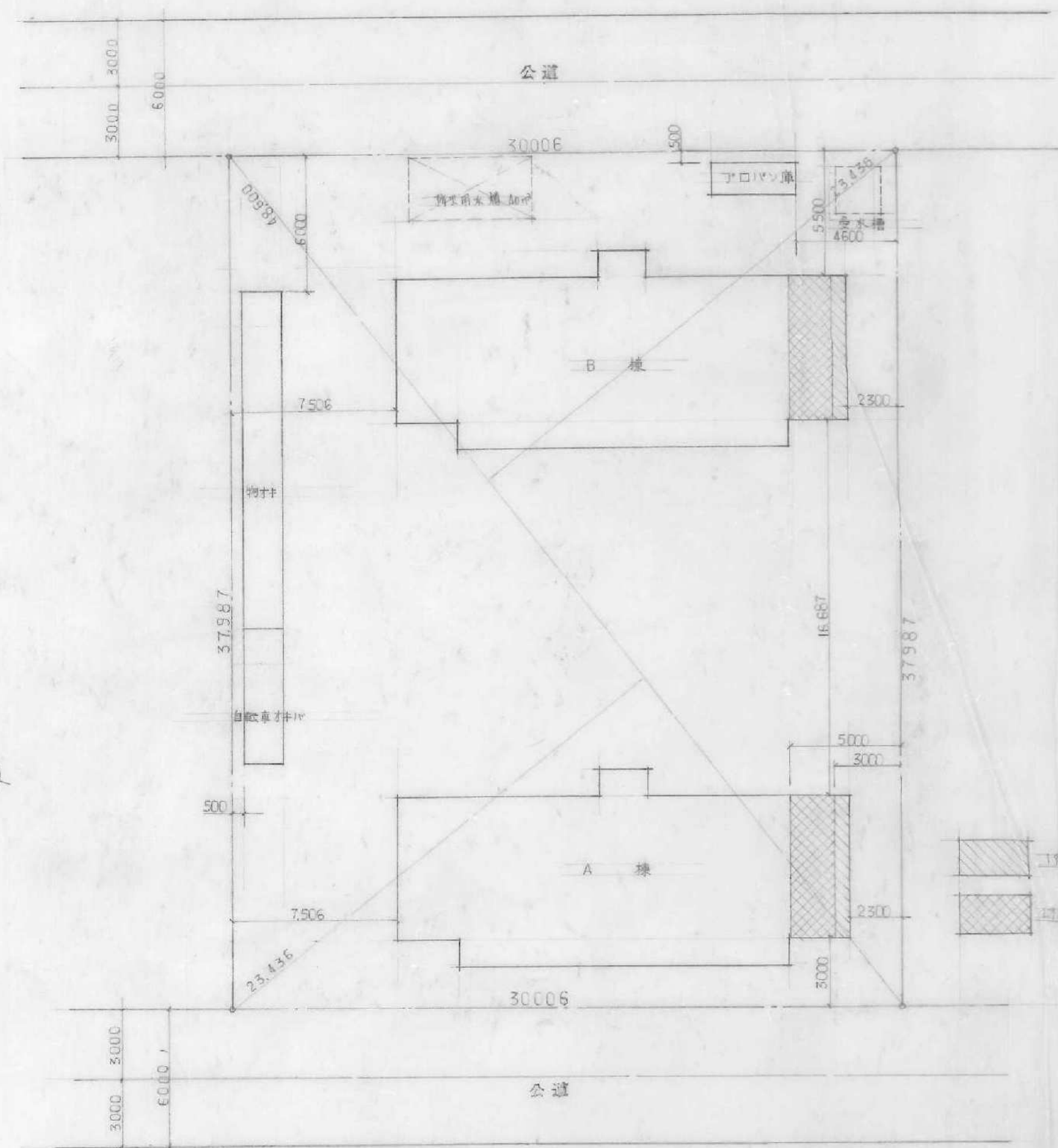
19 雑工事

① 室名札・階数表示	● 材質： ・ プラスチック ・ ステンレス ・ アルミ ・ その他（ ● 文字型式： ・ 書き文字 ・ 彫文字 ・ 貼文字 ・ 抜き文字 ・ その他（ ・ 文字材質： ・ 地と同質 ・ シルクスクリーンエナメル ・ その他（
② 郵 便 受	● 材質： ・ ステンレス ・ 鋼板 ・ その他 ● 型式： ・ 個別型 ・ 集合型
3. 黒 板 ・ 掲 示 板	● 材質： ・ スチール ・ アルミ ・ ホロー鋼板 ・ その他（ ・ 枠 ： ・ アルミ ・ スチール ・ 木製 ・ その他（ ・ 形状： ・ 平面 ・ 曲面 ・ 上げ下げ式 ・ 映写スクリーン内蔵型 ・ 寸法： ・ W %×H %
④ 屋 上 丸 環	● 材質： ・ 亜鉛メッキ ・ ステンレス ・ その他（
5. 遊 樂 器 具	● 型式・材質： ・
6. 審 試 き マ ッ ト	● 材質： ・ ステンレス（枠：ステンレス） ・ 硬質アルミ（枠：硬質アルミ） ・ ビニールあるいはゴム製（枠：硬質アルミ）
7. 可 動 間 仕 切	● 種類： ・ アコーディオンドア ・ ルーバードア ・ パネルパーティション ・ その他（ ● 材質： ・ 木製 ・ ビニールクロス仕上 ・ 焼付塗装 ・ 化粧単板 ・ その他（
⑧ カーテンレール	● 材質： ● ステンレス ・ アルミ ・ プラスチック ・ その他（ ● 型式： ・ シングル ● ダブル ・ その他（
9. ブ ラ イ ン ド	● 材質： ・ ステンレス ・ アルミ ・ プラスチック ● 型式： ・ たて型 ・ よこ型（スラット巾： %）
⑩ 流 し 台	● 種類： ● 既製品 ・ 特注 ・ その他（
11. 浴 槽	● 材質： ・ FRP ・ ポリエステル ・ ホロー ・ ステンレス
12. 旗 竿 金 物	● 材質： ・ ステンレス ・ アルミ ・ スチール

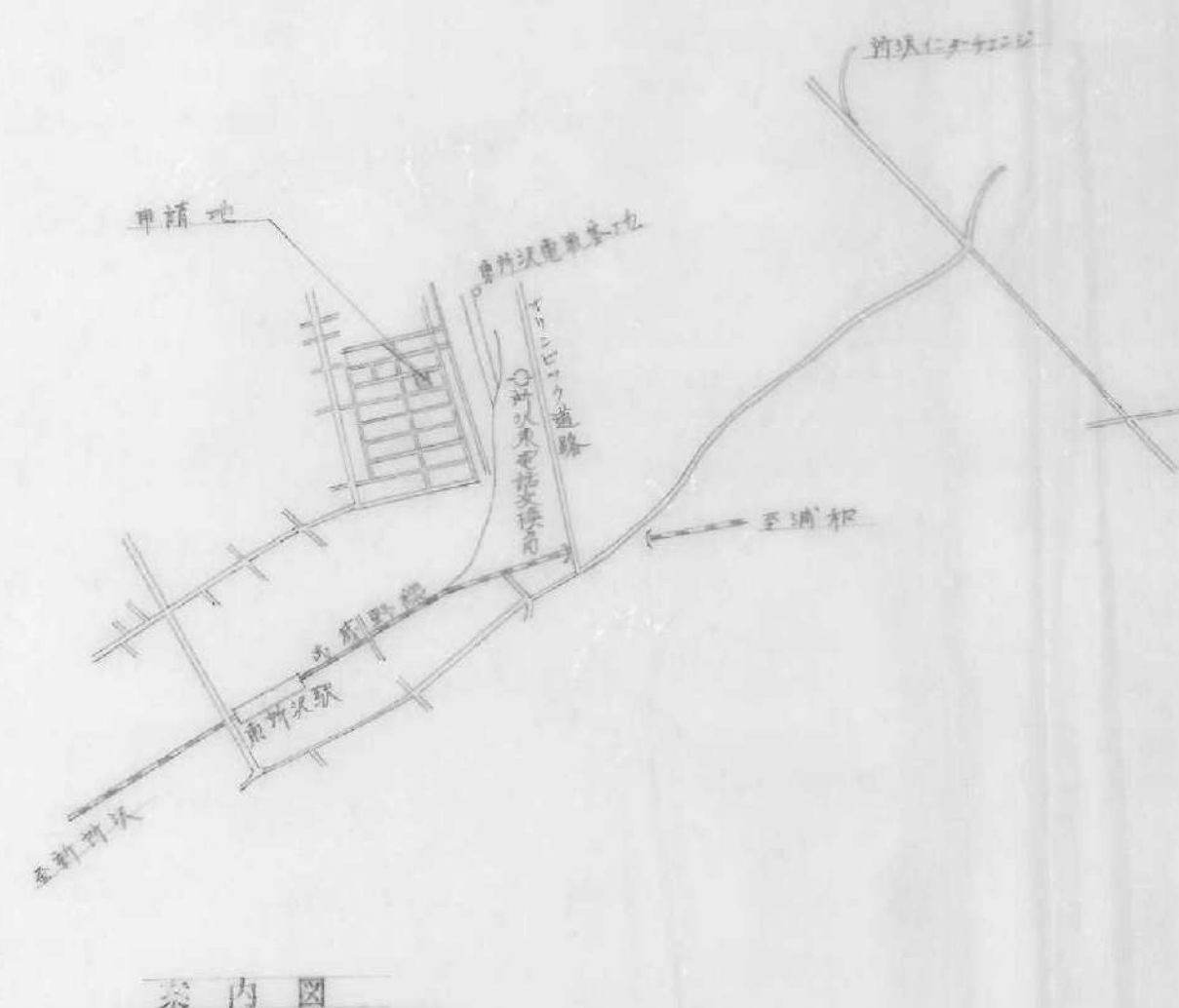
20 外構工事

① 一般事項	● 工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする。
② 舗 装	● 種類： ・ アスファルト舗装（ ・ 混合式 ・ 浸透式 ） ・ コンクリート舗装（ ・ 有筋 ・ 無筋 ・ 厚層金鋼入） ・ 砂利面舗装：切込砂利 % 散布砂利 %
③ フ ェ ン ス	● 種類： ・ ネットフェンス ・ エキスパンダメタルフェンス ・ その他 ● 高さ： H＝ %
4. 塀	● 種類： 万代塀 ・ コンクリートブロック塀 ・ その他（ ● 高さ： H＝ % ● 仕上：
5. 境 界 石	● 型式： ・ 歩車道境界用既製ブロック ・ その他（
⑥ 敷 地 内 排 水 溝	● 種類： 溝 ・ 底製U字側溝 (W＝ % H＝ % L＝) ・ 既製し字側溝 (W＝ % H＝ % L＝) ・ 現場打コンクリート溝 (W＝ % H＝ % L＝) ・ その他（ 溝 ・ コンクリートブロック製 ・ 諸鉄製 ・ その他（
7. 植 栽	● 植栽： 風除け支柱の種類（ ・ 三脚 ・ 四脚 ・ 扇扇形） ● 植栽期間： 新植・移植および芝貼りの植栽期間 引渡しの日より 年間 ・ 芝貼り： 種類 ・ 野芝 ・ こうらい芝 ・ その他（ 寄土 ・ 不要 ・ 要 %

● メーカーリスト

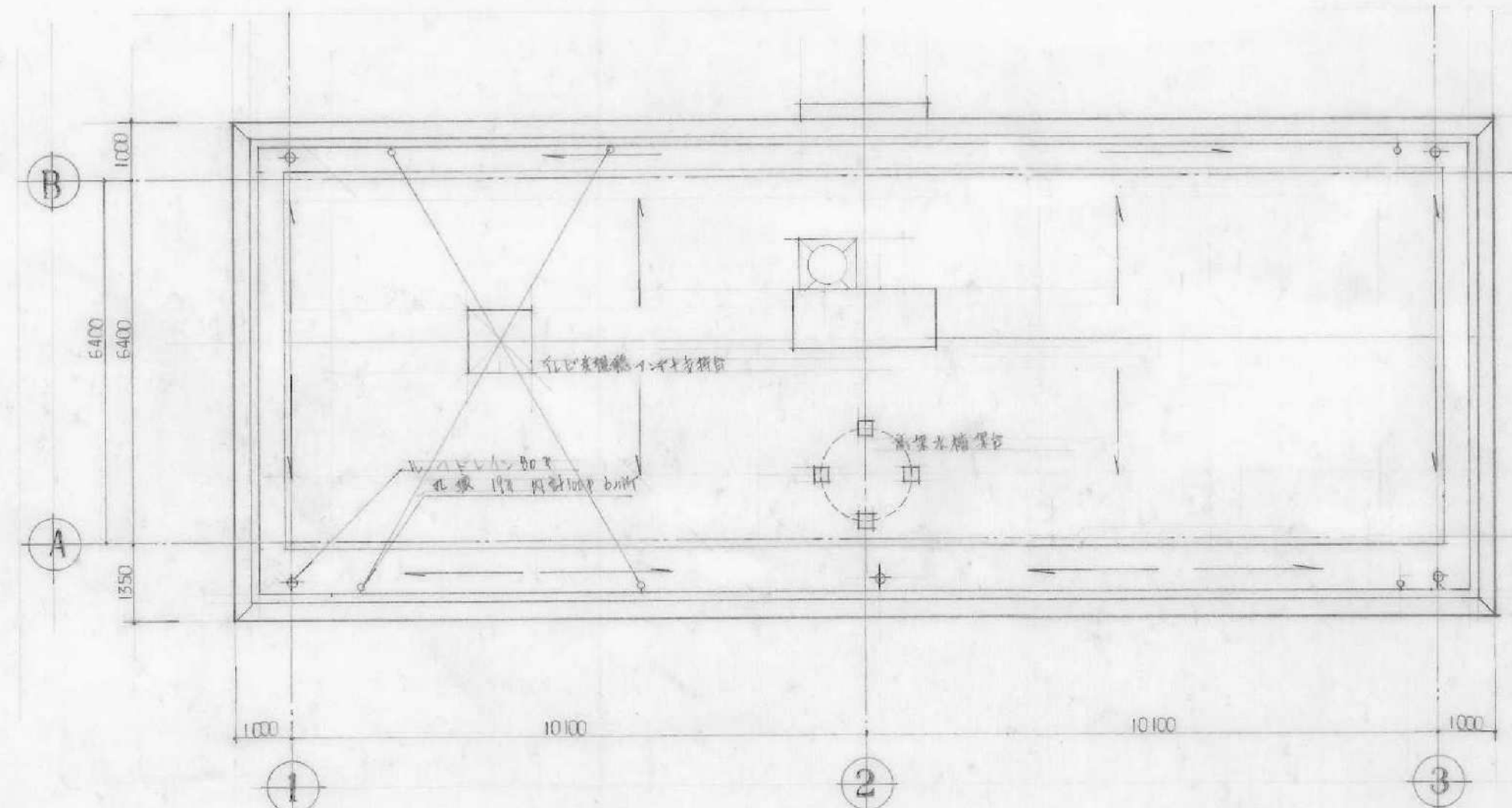


敷地面積表	
$(23436 + 23436) \times 48.600 \times 1/2$	
	113.9.000 ㎡

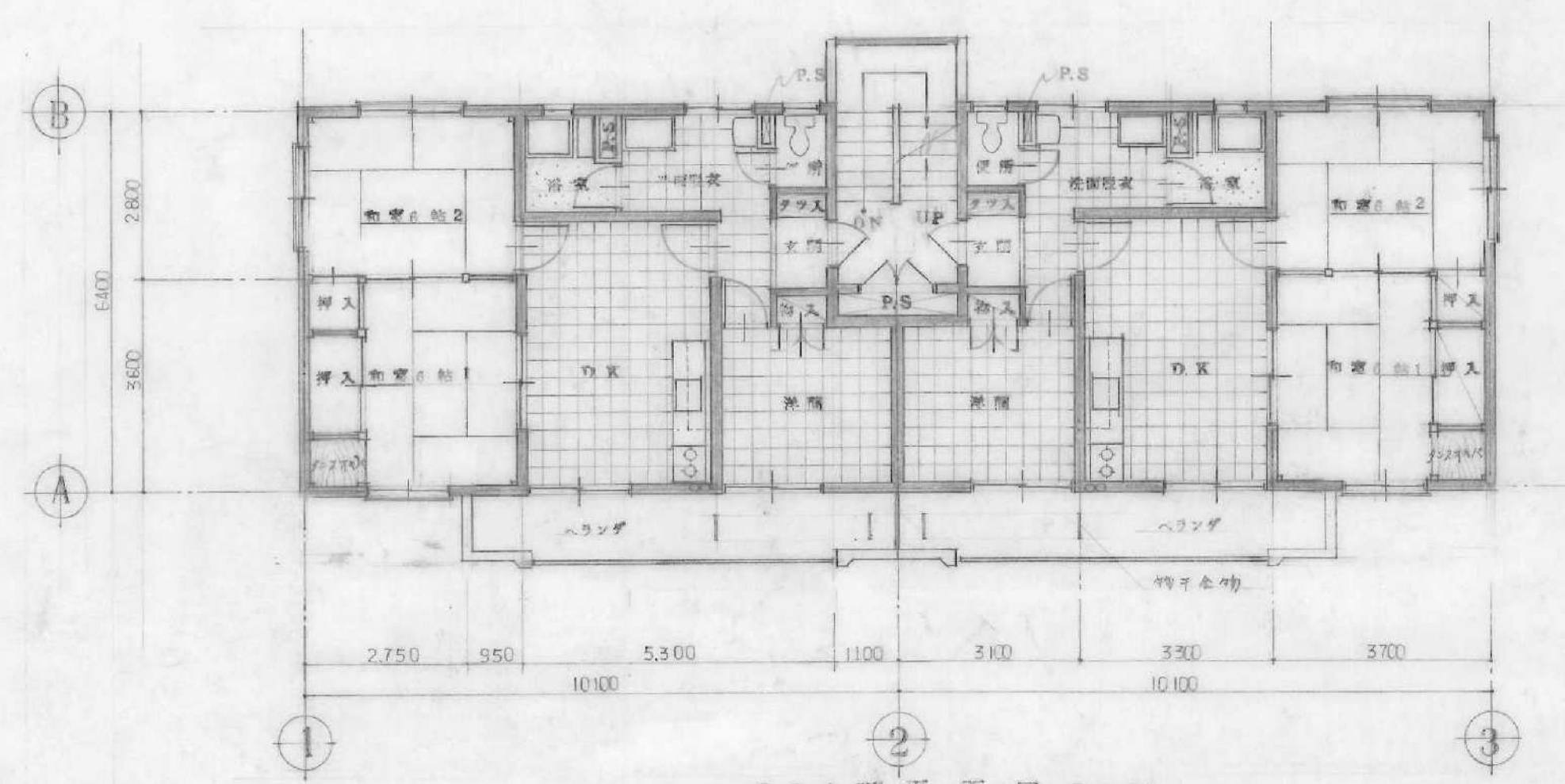


木工部面積表 A棟			
1階	(A) 住戸	$3600 \times 9000 + 2800 \times 10100$	60.680
	(B) 階段	3600×2200	7.920
	(C) バルコニー	$1150 \times 7350 + (5350 + 5550) \times 0100 \times 1/2$	8.997
	床面積	(A) $\times 2 + (B)$	129.280
	1戸当りの専有床面積	(A) $\div (C)$	69.677
2階	床面積	同 上	129.280
	1戸当りの専有床面積	同 上	69.677
3階	床面積	同 上	129.280
	1戸当りの専有床面積	同 上	69.677
	延面積	129.280×3	387.840
	建築面積	(E) $129.280 + (F) 0.440 + (G) 3.294$	133.014
附属建物面積表			
	物置(1戸当り)床面積	1800×1250	2.250
	延面積	2.250×12	27.000
	建築面積	同 上	27.000
	自転車置き場床面積	6000×1800	10.800
	延面積	同 上	10.800
	建築面積	同 上	10.800
	カーポート床面積	1450×3750	5.475
	延面積	同 上	5.475
	建築面積	同 上	5.475

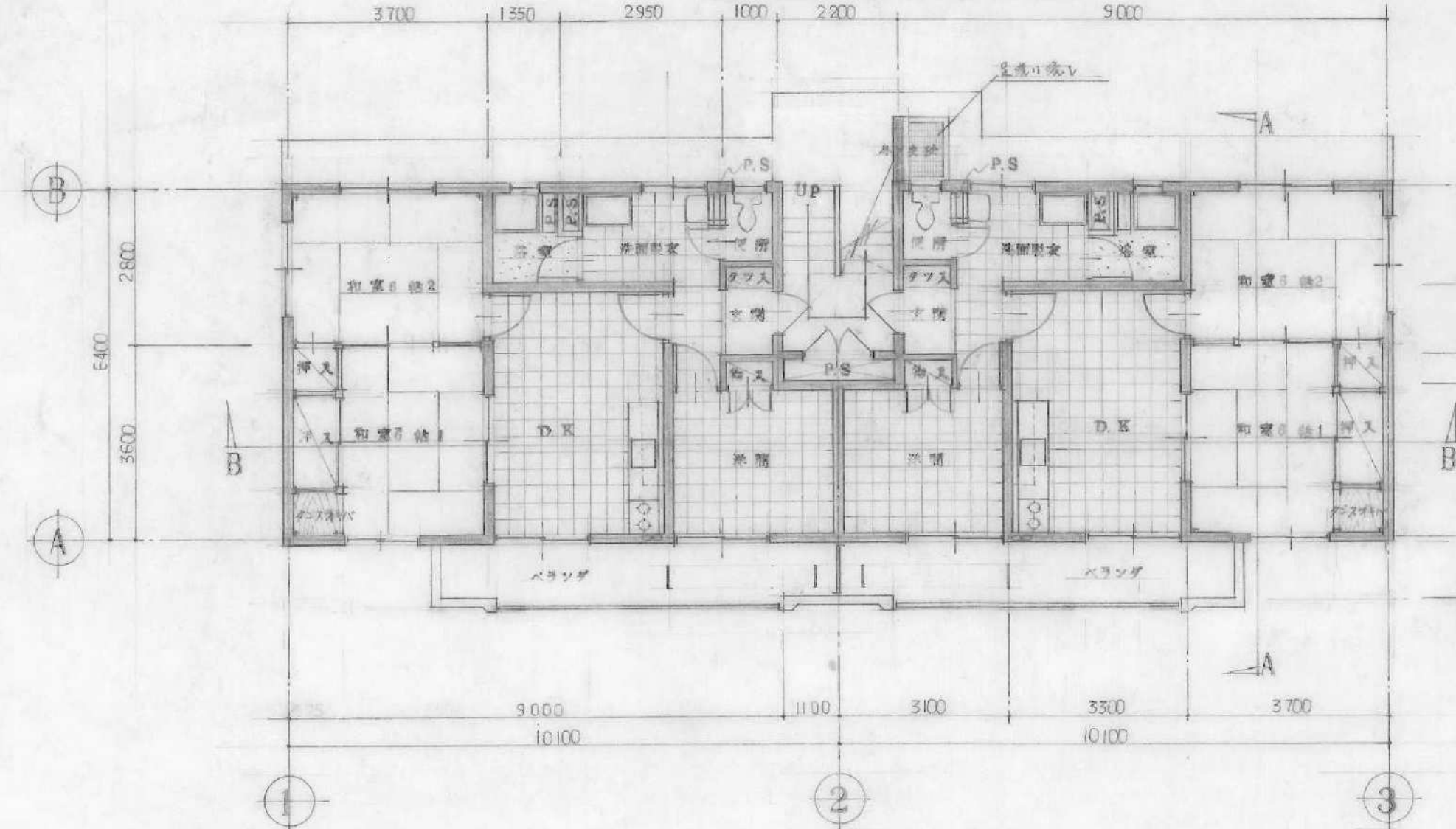
木工部面積表 B棟			
1階	(A) 住戸	$3600 \times 9000 + 2800 \times 10100$	60.680
	(B) 階段	3600×2200	7.920
	(C) バルコニー	$1150 \times 7350 + (5350 + 5550) \times 0100 \times 1/2$	8.997
	床面積	(A) $\times 2 + (B)$	129.280
	1戸当りの専有床面積	(A) $\div (C)$	69.677
2階	床面積	同 上	129.280
	1戸当りの専有床面積	同 上	69.677
3階	床面積	同 上	129.280
	1戸当りの専有床面積	同 上	69.677
	延面積	129.280×3	387.840
	建築面積	(E) $129.280 + (F) 0.440 + (G) 3.294$	133.014



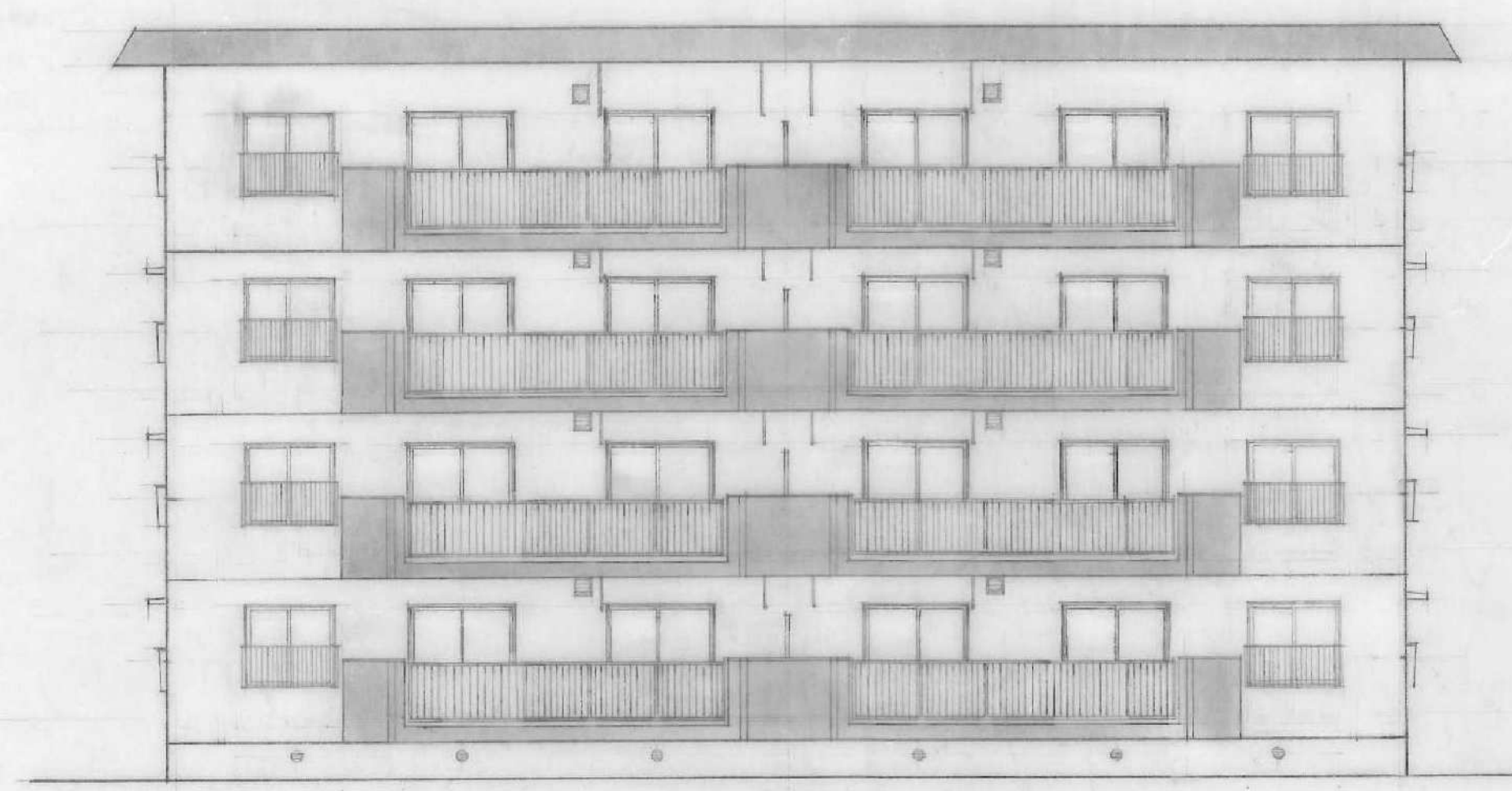
R階平面図 S 1:100



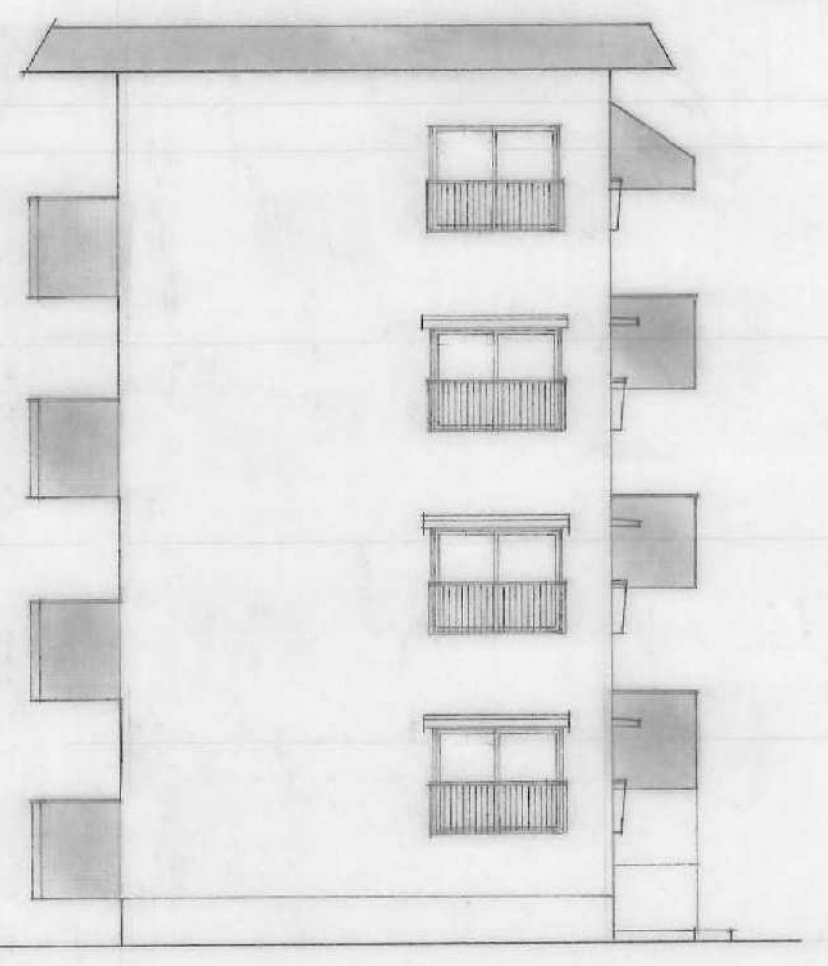
2,3,4階平面図 S 1:100



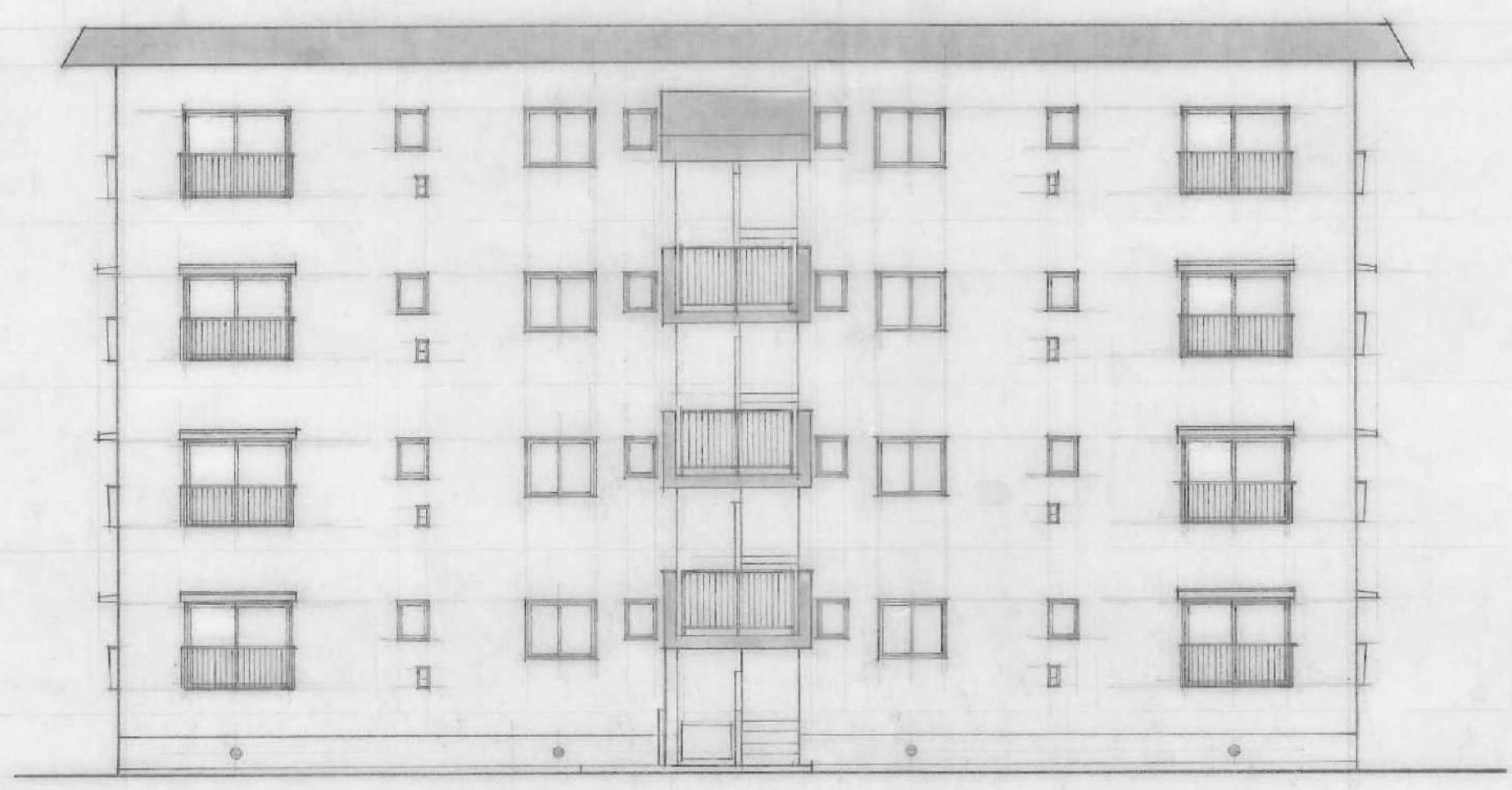
1階平面図 S 1:100



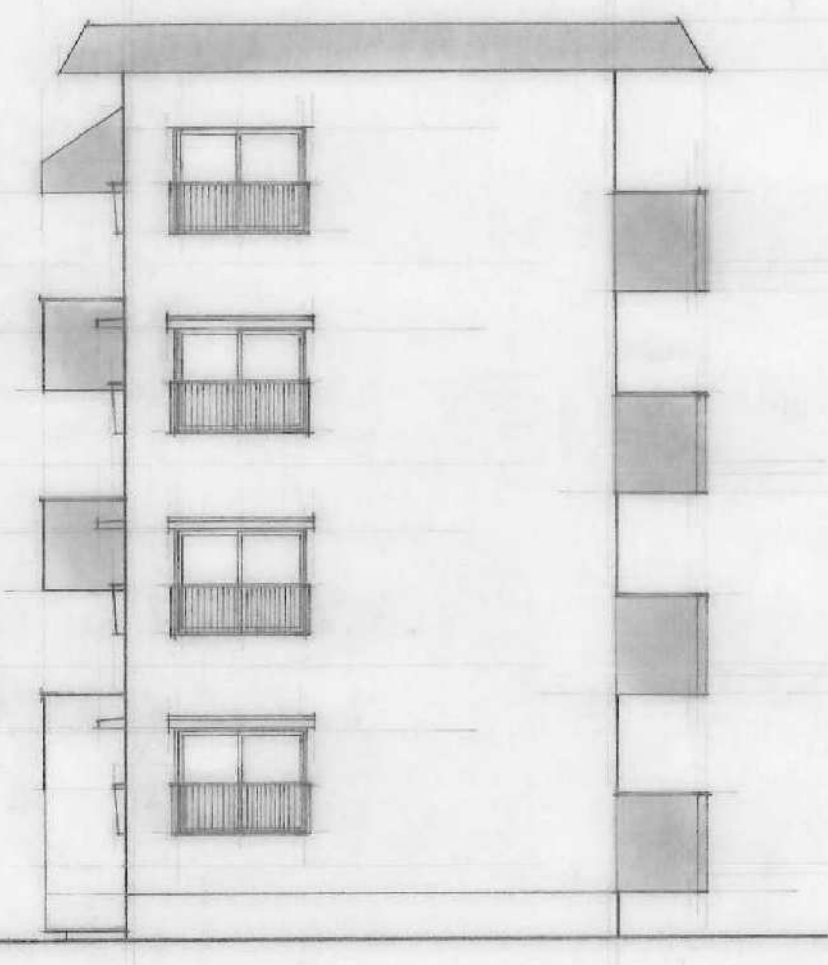
南立面図 S 1:100



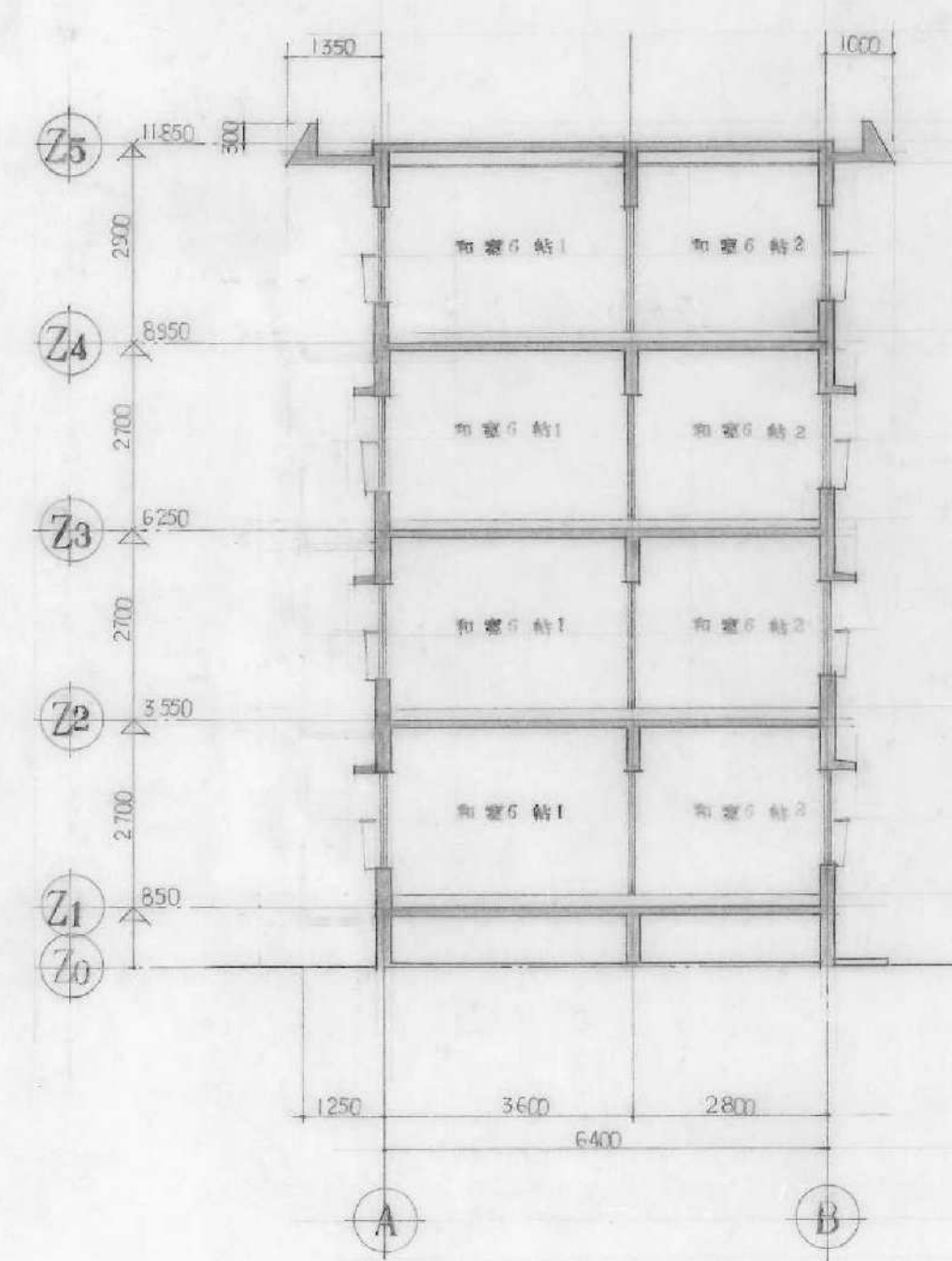
東立面図 S 1:100



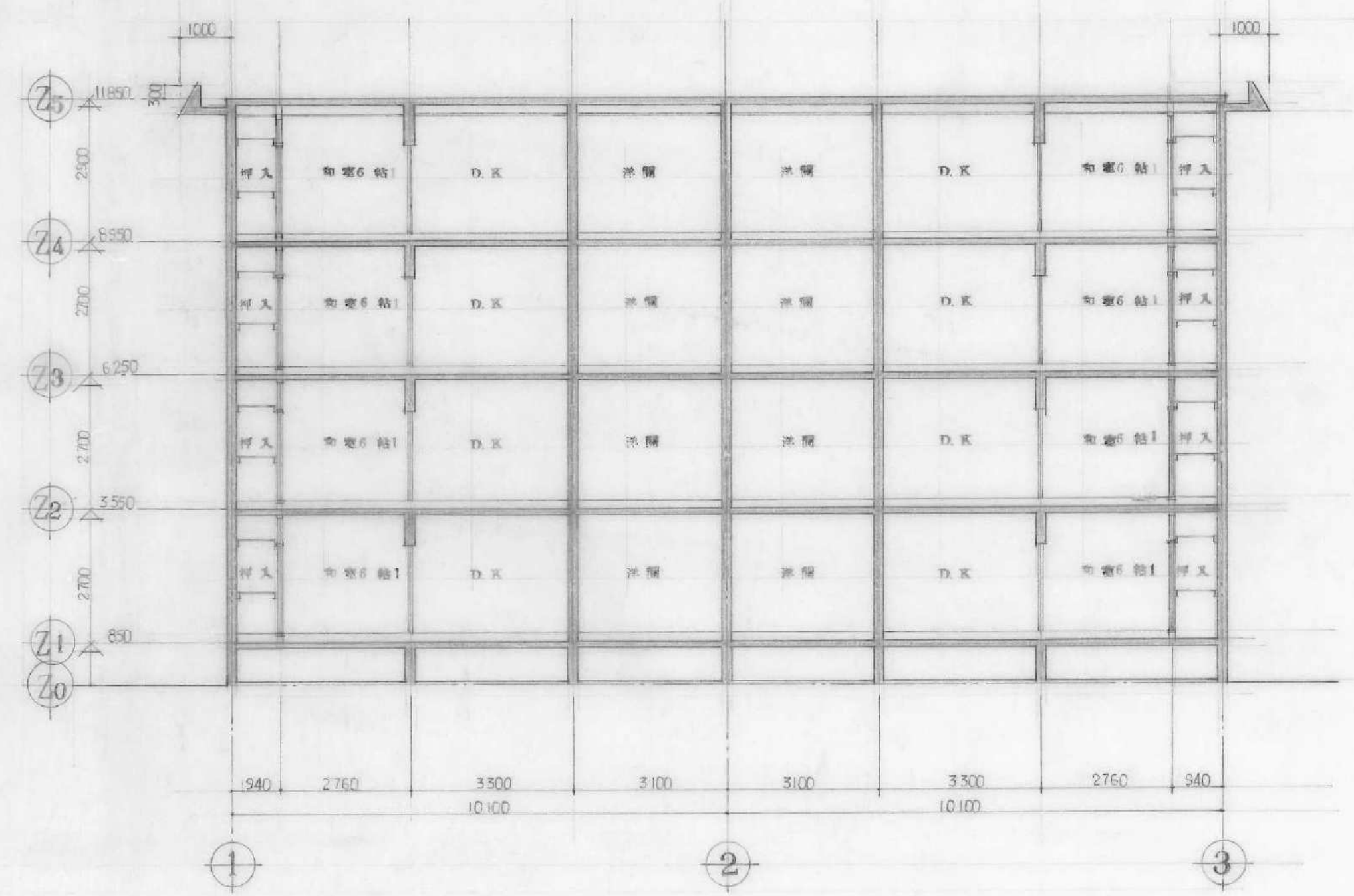
北立面図 S 1:100



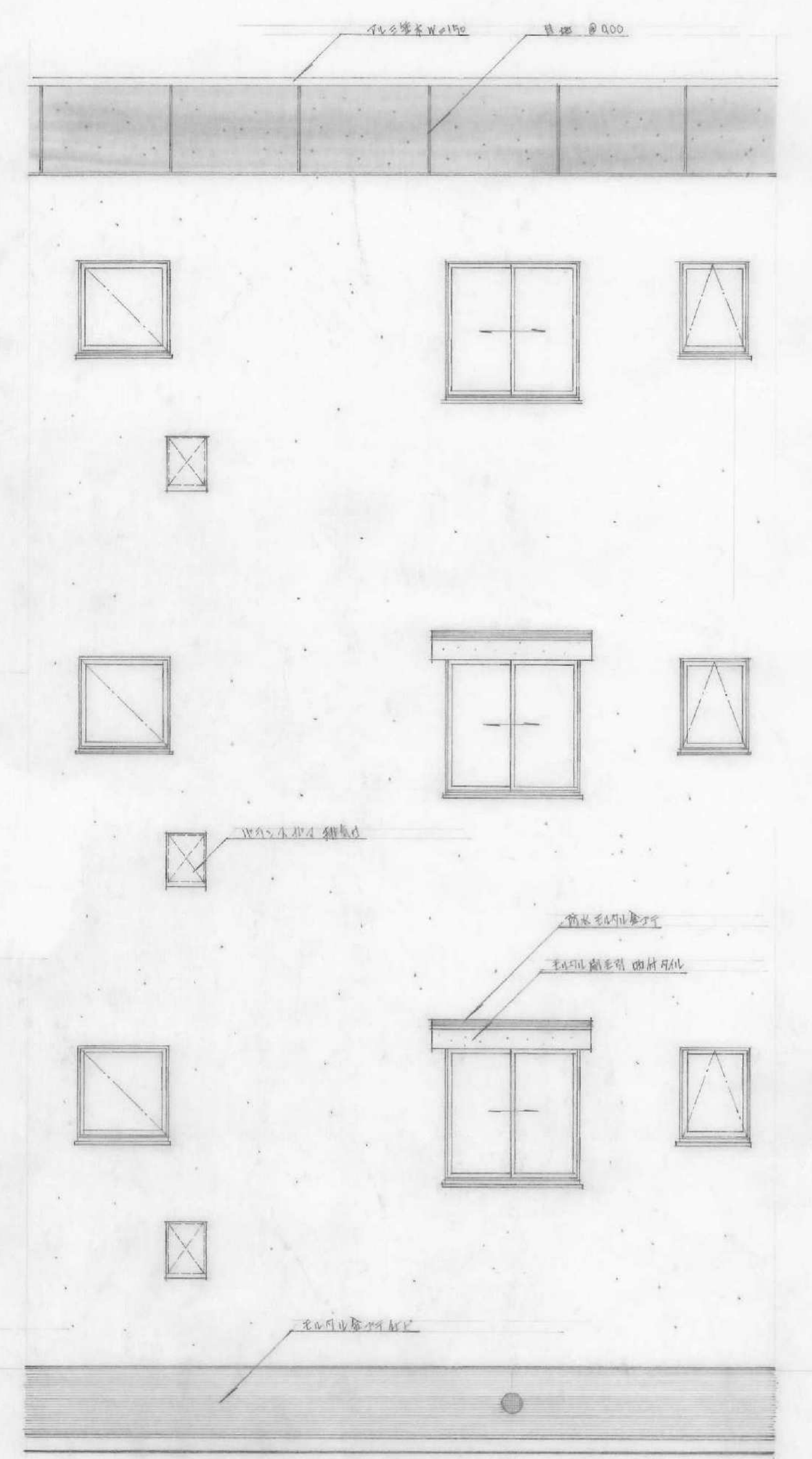
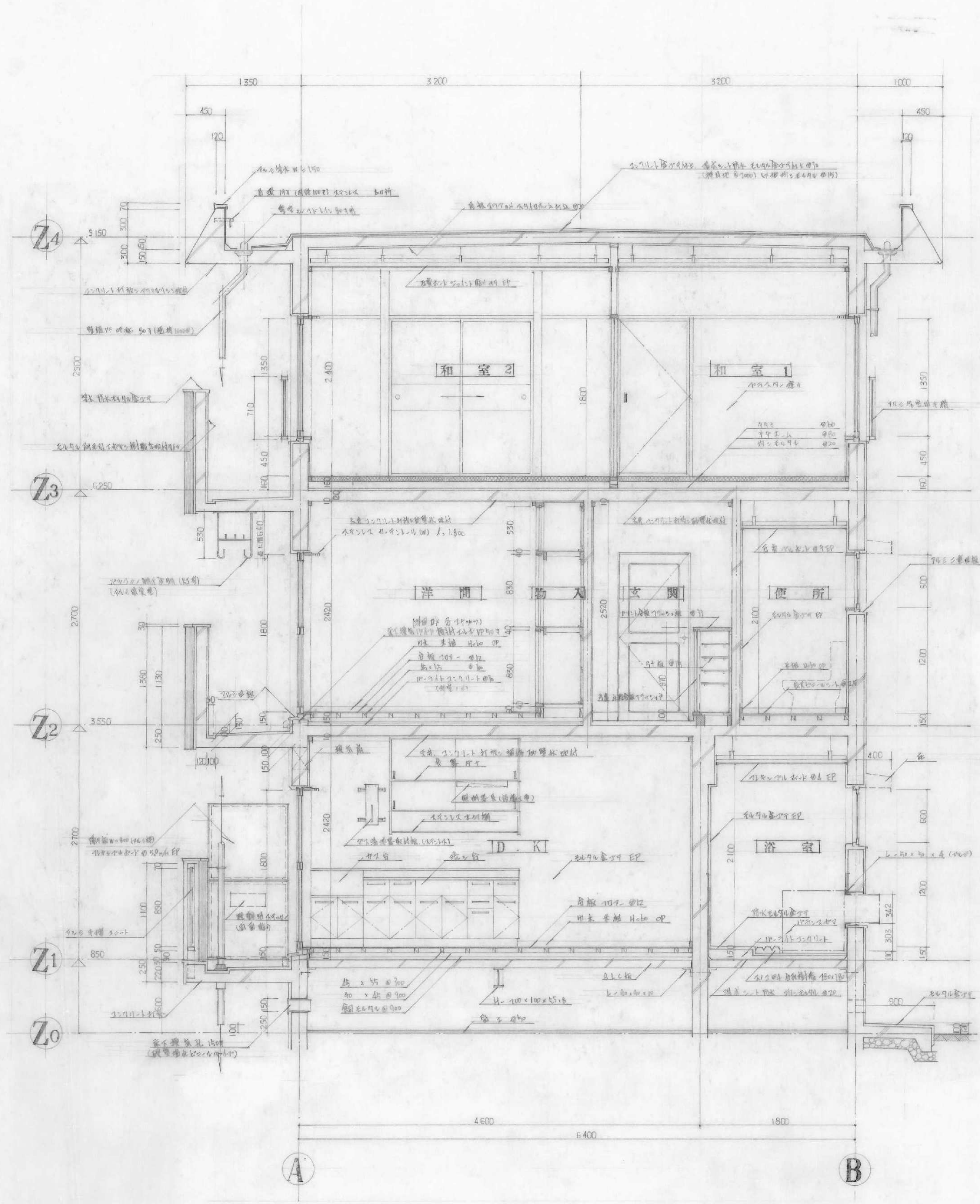
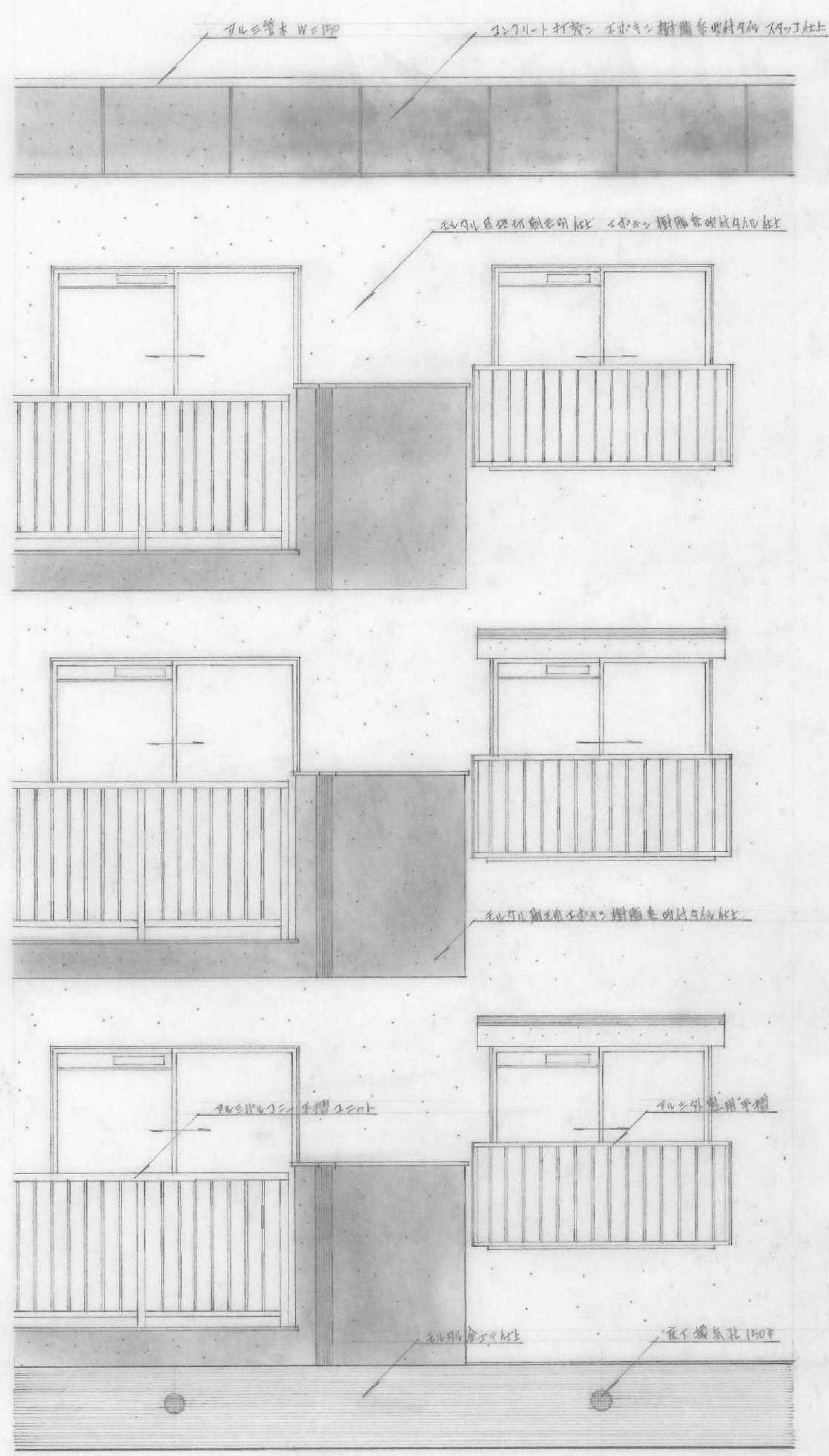
西立面図 S 1:100



A-A断面図 S 1:100



B-B断面図 S 1:100



3階平面図 1:30

